

5/27 第1回学校運営協議会を実施しました

地域と学校が手を取り合い、子どもたちの成長とより良い街づくり、学校づくりを共に考える「学校運営協議会」を実施しました。本校としては5年目の取り組みとなります。9人の外部委員の方々と本校の職員とで、「地域と学校の双方がうれしいWin-Winな関係」を目指し協議した3点についてお伝えします。

<令和8年度外部委員の皆様>

櫻井 茂幸	石岡市小幡地区【協議会会長】
梶山 英男	石岡市小幡地区【協議会副会長】
小杉山大輔	石岡市教育委員会 文化振興課
山中圭一郎	いばらきフラワーパーク
持丸 美鈴	(株)カスミ管理本部秘書部
飯田絵里香	小美玉市社会福祉協議会
栗原 智広	岡野ファーム
黒澤 晋一	くろねこ農園
西井 由妃	本校 PTA 会長

協議①地域と学校が「お互いに無理なく関われる活動」を続ける工夫

- 取組みを負担なく継続するために、「がんばりすぎない」ことが大切である。
- 地域の歴史財産を授業に活かすことができる。学校の周辺にも石室や古墳がある。
- フラワーパークでの活動や製品販売等、今行っている授業に地域の方が気軽に参加できるとよい。
- 交流を喜んでくださる方々の想いや、地域の方々の専門的な知識を、学校のニーズとつなげる仕組みを考えたい。橋渡しをする方に入ってもらうとよい。

協議②学校の学習や取り組みが、地域に貢献することができるか

- 地域の皆さんが普段から掃除してくださっている場所に、清掃活動として参加してはどうか。
- 地元店舗の「カスミ」や「JA 直売所」などでも、生徒の作品や絵を展示できるとよい。
- 子ども達との関わりや応援することが「自分の経験が子ども達の役に立つ」という「生きがい」につながっている。
- 授業で学んだことを、保護者や地域の人に返す機会があるとよい。
- 地域の方々と児童生徒とでイベントができるとよい。
- 学校に関わるボランティアを育成できるとよい。



協議③地域の方々が学校と関わりやすくなる情報発信について

- 回覧板やチラシなどの「紙」は強力。SNS(インスタグラム等)も多くの方に情報を発信できるので併用したい。
- 学校の情報を、市内の小・中学校(マチコミ・楽メ等)で発信できるとよい。
- 大学のサークルや地域の施設・事業所など、交流を希望するところに声をかけてはどうか。
- JA やスーパーなど、地域の方が普段行く場所に情報を掲示することも効果的である。
- 地域の名人や達人等のカードを作るなど、子ども達が地域の方に親しめる取組みがあるとよい。



令和8年度の活動もスタートしています

小学部は、「くろねこ農園」さんで玉ねぎの収穫体験をしました。カスミの移動販売車で買い物をした学年もあります。中学部では、フラワーパークの花の苗づくりに挑戦しています。高等部ではフラワーパークで清掃活動や製品販売を実施しました。「ゆりの郷」での作品展示も始まっています。各活動の様子については、本校ホームページをご覧ください。

今回の協議を受けて、今後、児童生徒の学習に適した取り組みを見極めて取り組んでいきたいと思えます。また、活動を通して学んだことについて児童生徒と一緒に振り返り、次に生かしていきたいです。

第2回学校運営委員会は8/25(火)に実施予定です。今回協議した取り組みについての報告と、通常の授業へどのように地域と連携した活動を取り入れるか協議する予定です。